

情報の授業

パワポでCM/プロモーションビデオを作ろう (パワポ100%)

- ・今までプレゼン用におとなしい(動かない)スライドを作ってきました。
- ・CMでは、パワポのアニメーションや、音楽挿入機能を使っていきます。



CM作りの概要

演習課題

テーマ

パワポでCM/プロモーションビデオ/予告編

- ・ テーマなんでもいいです。
 思いつかない人は、学校のCM作ってください。
 (授業なので、著作権はそれほどうるさくありません)

完成イメージ

- ・ パワポスライドをビデオ化したもので15～30秒程度
 パワポのスライドだと4～6枚程度
 (長い分にはかまいません)

作成のポイント

今回の制作では次のポイントのみ考慮

1. テキスト・グラフィック・写真などを組み合わせてください。
2. できるだけ自動的に動かすようにしてください。
3. ナレーション(自分/音声合成)入れてください。
4. 効果音やBGMなどの音をつけてください。

作成にあたってはポスター作りを参考に、見る人にCMやプロモーションビデオの内容がアピールできるもの、印象に残るものになしてください。

復習:アイキャッチとキャッチコピーの意味



普通はこんな感じ



アイキャッチ/キャッチコピー

今回の課題のスケジュール

1限	<ul style="list-style-type: none">・ 企画書の作成・ パワポスライドの作成・ ビデオ化・ 修正
2限	
3限	
4限	
5限	
6限	(最後に評価会)

企画書の作成





CM企画書 学年()クラス()番号()氏名()

1. CMにする対象

2. CMの対象者

3. CMで伝えたいこと

4. 絵コンテ

	新幹線と紐子 取ってくる半井餅
	返る一万円札 登場するコインで安い
	半井餅食べ、 にっこりする人たち
	早い、安い、うまい

1. CMにする対象
2. CMの対象者
3. CMで伝えたいこと
4. 絵コンテ

だいたいでもいいです。
 作っていく過程で変えて
 いいです。(この場合、企
 画書の絵コンテは変更し
 なくていいです。)

パワポ100%動画教材



パワポだけで動画教材を
作ってみよう(概要)

充実した画面切り替えとアニメーションの機能



開始効果



強調効果



終了効果



軌道効果

利用可能な安価・無料のイラスト素材



フリーイラスト
いらすとや



フリー写真
ぱくたそ

パワポの簡単なビデオ作成機能



The screenshot shows the 'Export' menu in PowerPoint. The 'Export' option in the left sidebar is circled in red. In the main menu, 'ビデオの作成' (Create Video) is also circled in red. The right pane shows video creation options, with 'インターネット品質' (Internet Quality) circled in red.

エクスポート

- Adobe PDF を作成
- PDF/XPS ドキュメントの作成
- ビデオの作成**
- プレゼンテーション パック
- 配布資料の作成
- ファイルの種類の変更

ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、およびレーザー ポインターの動きが
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ

プレゼンテーション品質	最大ファイル サイズおよび高画質 (1440 x 1080)
プレゼンテーション品質	最大ファイル サイズおよび高画質 (1440 x 1080)
インターネット品質	中ファイル サイズおよび中程度の品質 (960 x 720)
低品質	最小ファイル サイズおよび低画質 (640 x 480)

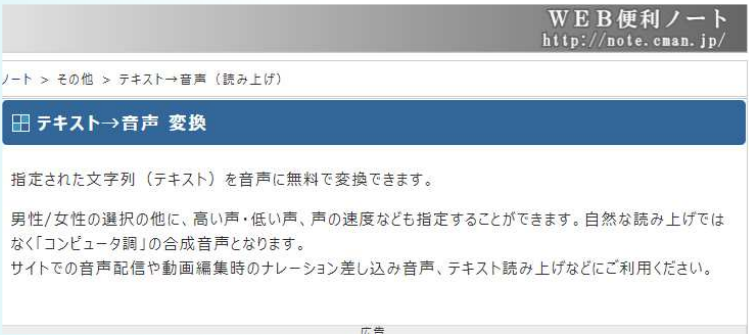
作成



実用的で安価・無料の音声合成機能



ゆくも!



Web便利ノート
テキスト->音声変換

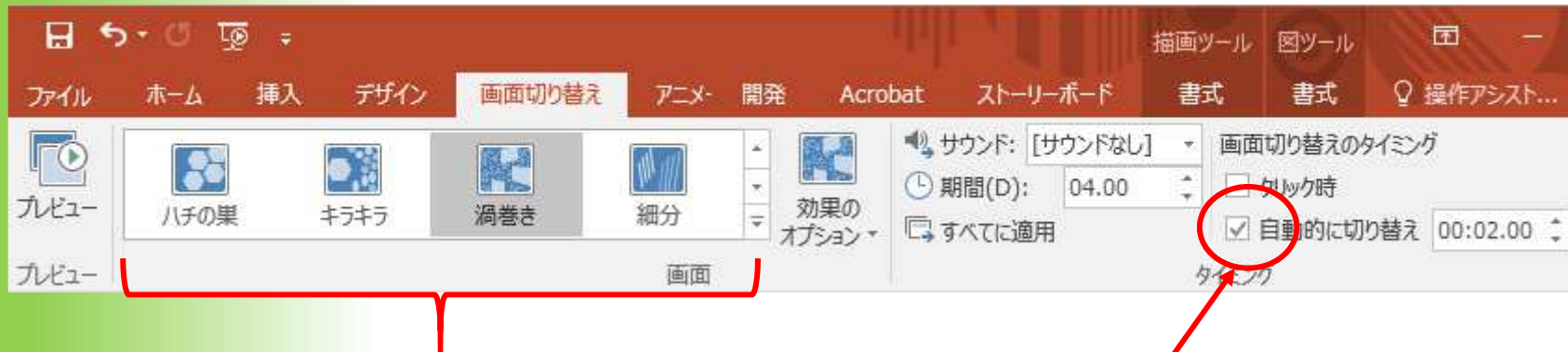


パワポ100%動画教材

パワポだけで動画教材を
作ってみよう

Tips(テクニック集)

Tips01:画面切り替え



[画面切り替え]で、選択すれば、そのスライドが表示されるときの効果を指定できる。

Tips:

- ・一つの動画の中で、切り替えの効果の意味を統一してもたせること。

⊗ ←
例:私の動画だと
右上のこの図形の
アニメーション

[自動的に切り替え]チェックで自動的に進む動画ができる。

Tips:

- ・切り替え秒数は、アニメーションを使用している場合は、それが終了後に変わるので気にしなくていい。
- ・最後のアニメーションが終了とすぐ次のスライドに移るので、ダミーのアニメーションを入れて時間調節しています。

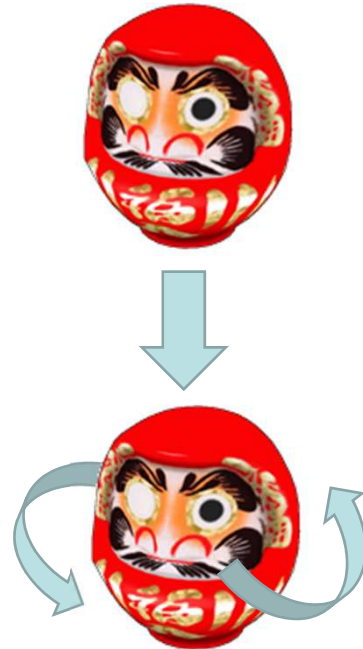
Tips03-アニメーションの種類

開始効果



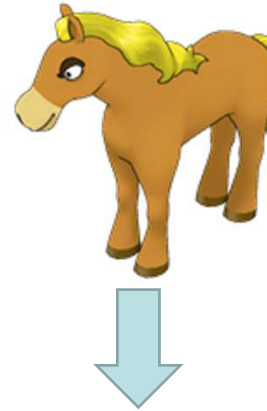
非表示の図・文字列が効果を伴って表示される。

強調効果



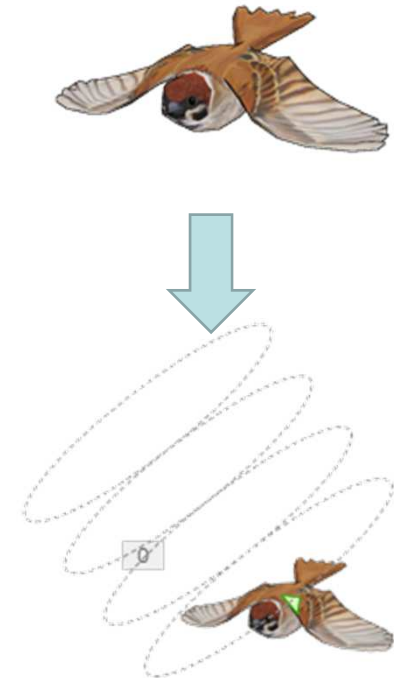
表示中の図・文字列が効果で表示される。

終了効果



表示中の図・文字列が効果を伴って非表示になる。

軌道効果



表示中の図・文字列が指定軌道を動く。

Tips03-01 アニメーションの指定



対象の図や文字列を指定した後、アニメーションから効果を指定するだけです。

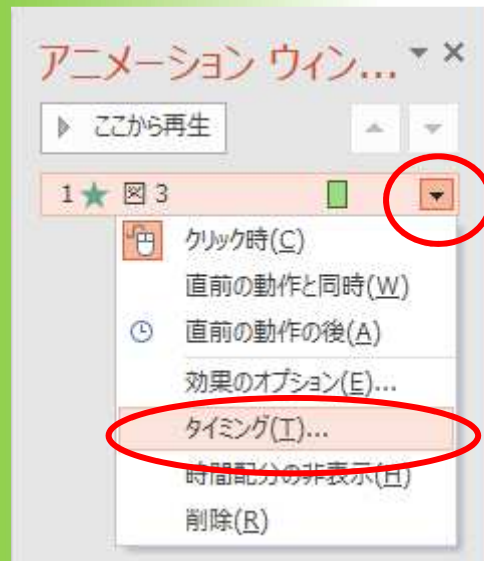
Tips:

一つの対象に指定できるアニメーションの効果は一つだけです。

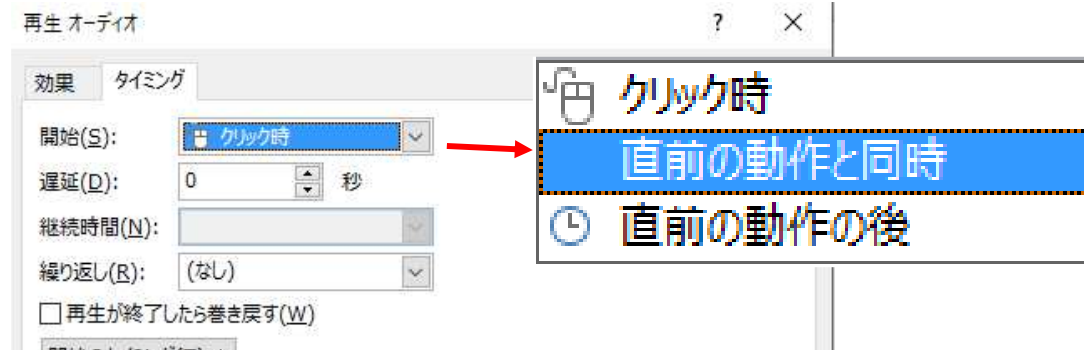
Tips03-02 アニメーションのタイミング



手順1: [アニメーション]-
[アニメーションウィンドウ]
を開く



手順2: 変更したい
アニメーションの
[タイミング]を開く



手順3:
動画の場合は[直前の動作と同時]又は[直前の
動作の後]を指定

Tips:

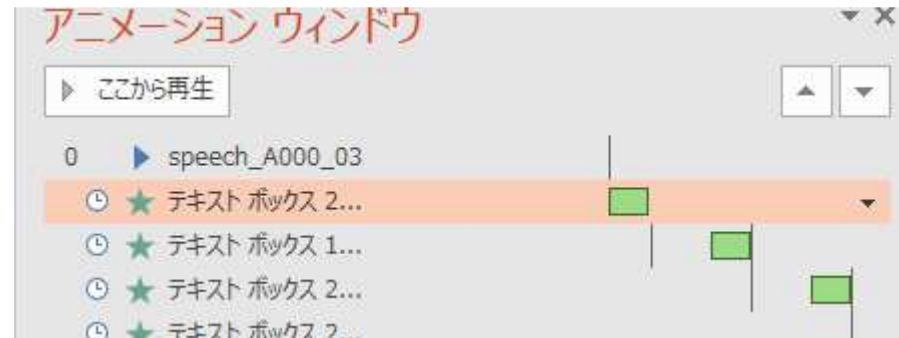
- スライド開示時のアニメーションは[直前の動作と同時]を指定する。
- 遅延は1~2秒ぐらい指定(私の場合、スライド開始時は1.5秒入れています)

Tips03-03 アニメーションの順番の変更

手順1: [アニメーション]- [アニメーションウィンド]を開く



手順2: ▲▼ボタンで順番が入れ替わります。



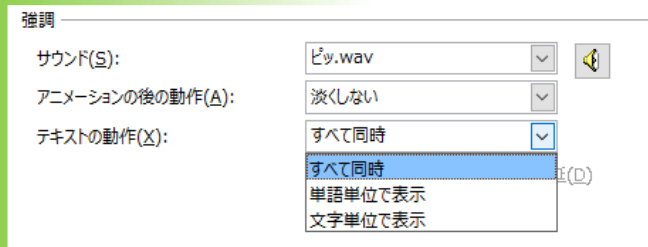
↑ Tips:

- アニメーションウィンドウを十分に広げると個々の動作の時間の流れが表示されます。
- アニメーションウィンドウの左端の0,1などの番号は、一連の自動的に動作するものの番号です。全自動だと0だけになる。
- 一つの大きな音声を流していて、そこに複数の動作を指定することはできないみたいです。
(Tips03-補足1参照)

Tips03-04 効果のオプションの指定

手順1: [アニメーション]- [アニメーションウィンド]を開く

手順2:効果のオプションを開く



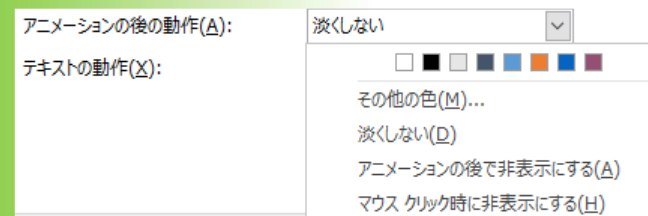
文字列を含むもの:

[すべて同時][単語単位][文字単位]の指定が可能。さらに、テキストアニメーションのタグで追加の指定が可能。



個々の動作によって指定できるもの:

動作の内容によって、さらに詳細の動作方法が指定できる。

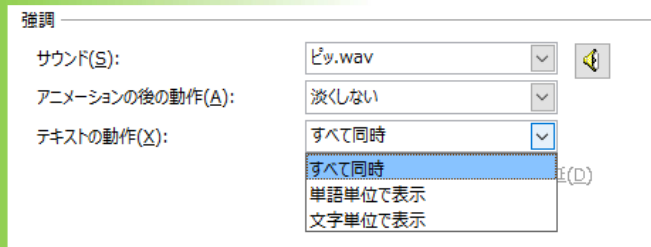


Tips: 動作後に非表示の指示が可能
動作後非表示の指示が可能であるため、開始の動作時間を長くとれば、表示して非表示も可能。また軌道効果の後にも非表示にできる。

Tips03-04 効果のオプションの指定

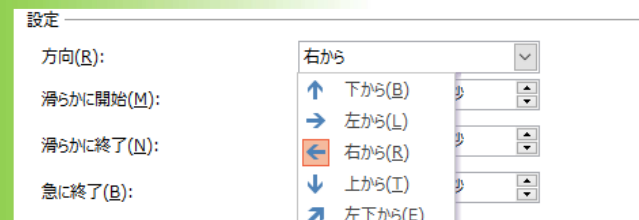
手順1: [アニメーション]- [アニメーションウィンド]を開く

手順2:効果のオプションを開く



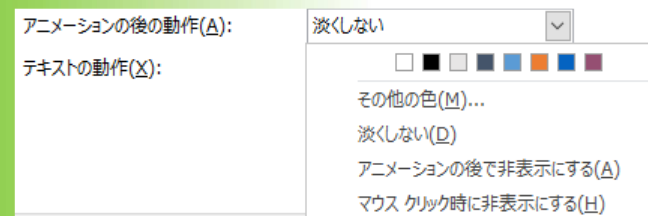
文字列を含むもの:

[すべて同時][単語単位][文字単位]の指定が可能。さらに、テキストアニメーションのタグで追加の指定が可能。



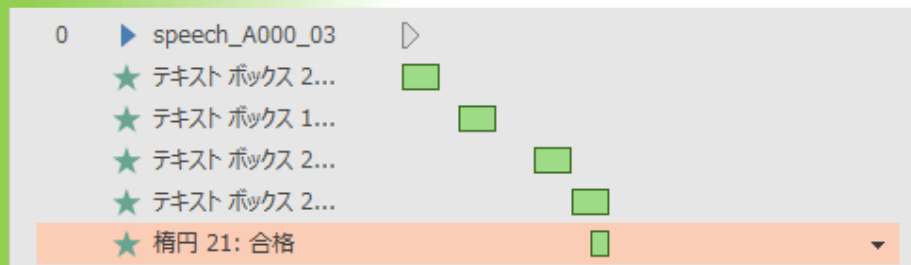
個々の動作によって指定できるもの:

動作の内容によって、さらに詳細の動作方法が指定できる。



Tips: 動作後に非表示の指示が可能
動作後非表示の指示が可能であるため、開始の動作時間を長くとれば、表示して非表示も可能。また軌道効果の後にも非表示にできる。

Tips03-補足1 [直前の動作と同時]又は[直前の動作の後]



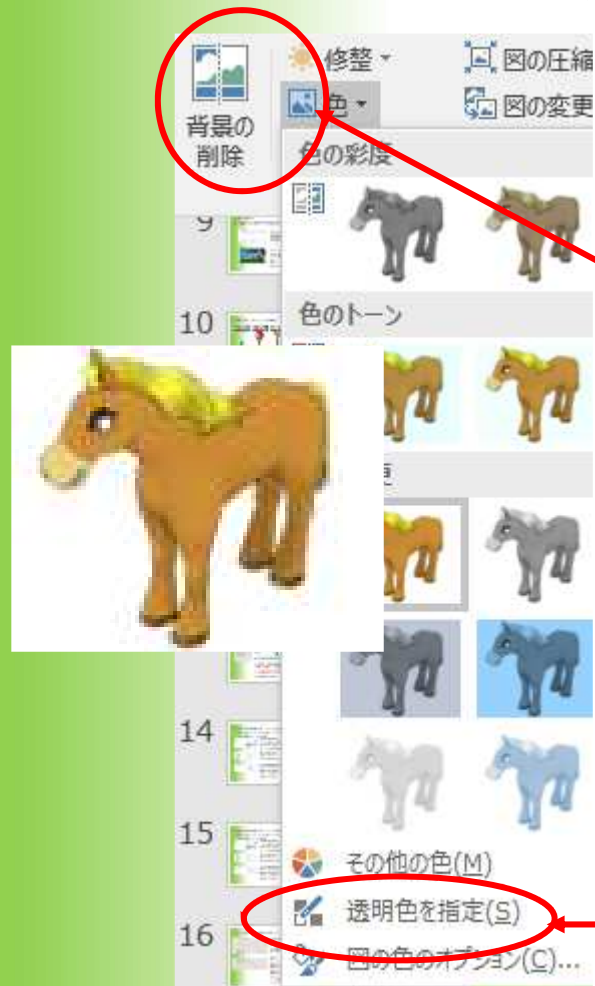
[直前の動作と同時]を指定すると動作や音の再生が同時に始まります。[直前の動作の後]を指定すると前の動作や音の再生が終了後に動作が始まります。

Tips:

例えば、長い音声と同期させてアニメーションの動作を次々にさせたい場合は、すべて[直前の動作と同時]を指定して、タイミングの遅延で動作の開始をずらすことができます。個人的な考えですが、かなり調整は難しいです。音声分割した方がタイミングは楽かも

Tips03-補足2 図形の透過

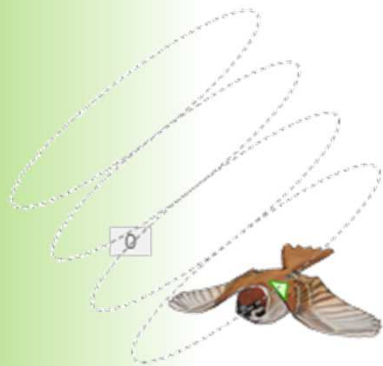
アニメーションを使うと、図形が透過でない場合、どうしても重なりが気になります。PowerPoint自体はこの透過編集の機能がかなり強化されています。



背景色が複雑な場合:
[図ツール]-[書式]-[色]の[背景
を削除]で背景部分を指定して
削除する。

背景色が一色の場合:
[図ツール]-[書式]-[色]の[透明
色を指定]を使用する

Tips02:音の種類



BGMなど
複数スライドを通した音声

解説ナレーションなど
一つのスライドに挿入する
複数の音声

効果音など
個々のアニメーションに
つけるもの

Tips02-01 BGMの挿入方法



BGMを開始したい
スライドで
[挿入] - [オーディオ]

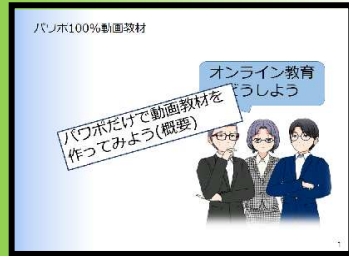


- ・ [バックグラウンドで再生]を指定
- ・ [再生が終了したら巻き戻す]をチェック

Tips:

- ・ 動画教材にはBGMがあった方がいいみたい。
- ・ BGMの音はかなり小さくなくように事前に編集

Tips02-02音の挿入方法



音を使いたいスライドで
[挿入] - [オーディオ]

Tips:

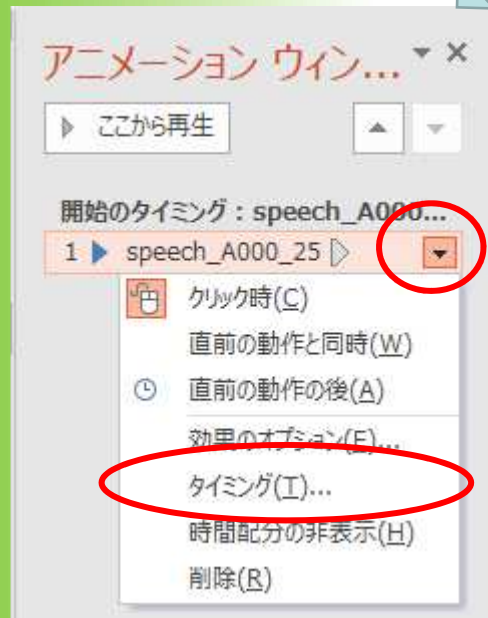
[スライドショーの実行中にサウンドのアイコンを隠す]チェックで、スピーカーマークが表示されずにすっきり



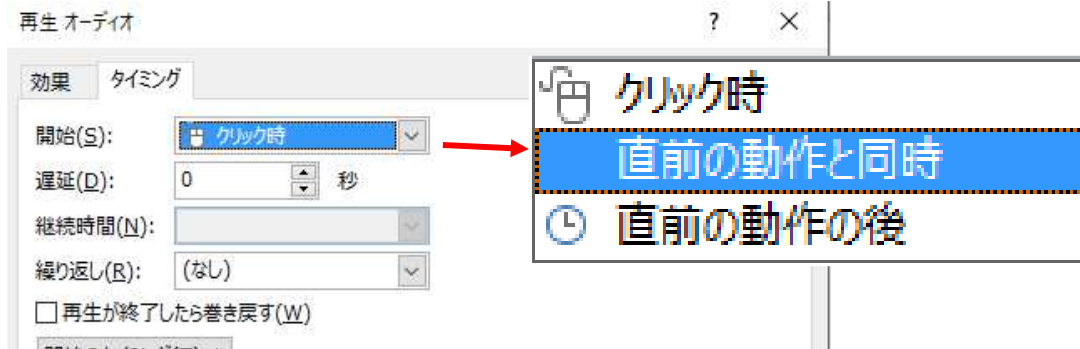
Tips02-03 挿入した音の細かい再生タイミング



手順1: [アニメーション]-
[アニメーションウィンドウ]
を開く



手順2: 変更したい
音声の[タイミング]
を開く



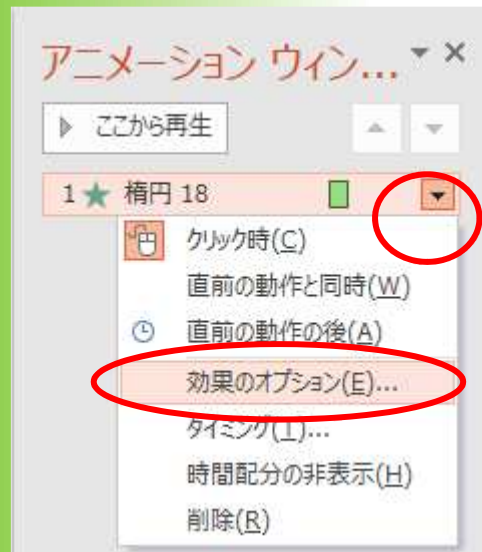
手順3:
動画の場合は[直前の動作と同時]又は[直前の
動作の後]を指定

- Tips:
- スライド開示時の音は[直前の動作と同時]を指定する。
 - 遅延は1~2秒ぐらい指定(私の場合、スライド開始時は1.5秒入れています)

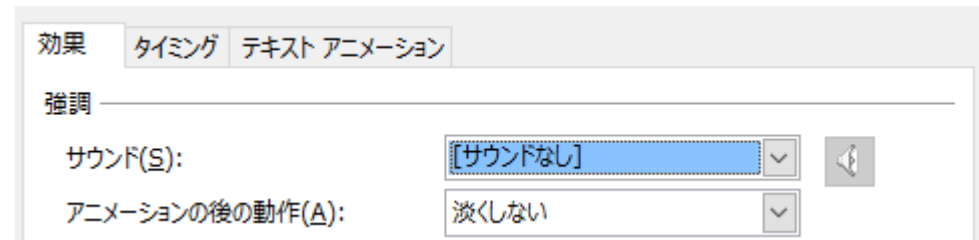
Tips02-04 アニメーションへの効果音の挿入



すでにアニメーションの指定がある状態で(Tips3参照)
手順1: [アニメーション]- [アニメーションウィンドウ]を開く



手順2: 変更したアニメーションの[効果のオプション]を開く



手順3:

効果でサウンドを指定する。あらかじめ用意された音もある。ファイルからの指定も可能(プルダウン下の方)

Tips:

- 効果音で指定できるファイルはwav形式のものだけ。ネット上のフリーの音源はmp3が多いので変換が必要。

Tips02-補足1

インターネットには多くのBGMや効果音などの音源が無料で提供されていますが、パワポの動画教材で使用する場合は、音量を下げたり、wav形式に変換する必要があります。

私は、Scratchというプログラミング言語の音声編集機能を使って簡単に編集しています。



Tips:

- ・ [小さくする]など音量を下げるのが簡単にできます。
- ・ mp3のファイルを読み込んだ場合でも、一回だけ[小さくする]の編集を行った後、書き出しを行うと、自動的にwav形式のファイルに変換されます。

Tips02-補足2

インターネットには多くのBGMや効果音などのフリーの音源がありますが、私が使っているものを紹介します。



効果音ラボ:

<https://soundeffect-lab.info/>
学校教材にクレジット無しで、自由加工して使えます。



DOVA-SYNDROME:

<https://soundeffect-lab.info/>
これも学校教材にクレジット無しで、自由加工して使えます。ただし、作曲者ごとに条件があるみたいで要確認。